

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 丸美屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念及び事業目標は明文化して社内掲示し朝礼で唱和しており、従業員に周知・理解されている。 中長期ビジョンやその役割、実現に向けた進捗状況を社内共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		従業員行動規範にてコンプライアンス遵守の仕組みを構築し社内に浸透している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		従業員行動規範にて、独占禁止法遵守・不正な利益供与の禁止を掲げ、不正な競争行為に関与しない方針を周知徹底している。									10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		SDGs・エネルギー効率化推進・開発等の担当部署を明確にして、企業の社会的責任を果たすよう組織体制を整備している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		従業員行動規範にて知的財産を保護することを明記し、他人の権利侵害や不正使用を行わないことを周知徹底している。							8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		従業員行動規範にて個人情報など機密情報の管理を周知徹底し、データ管理の徹底及びデータの流出防止対策マニュアルによる教育を実施している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		仕入業者や得意先との業者会にて経済情勢・法令対応・環境問題・社会問題、従業員面談やアンケートにて労働環境、地域との企業等懇親会や振興計画審議会にて地域社会における課題等について、定期的に取引先・従業員・地域社会等と意識共有コミュニケーションを取り、それぞれの課題に対して連携して対応し継続的な改善に取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		サプライヤー・取引先との業者会やCSR監査にて、不公正な取引防止・人権侵害防止等、コンプライアンス遵守や倫理面での意識共有に取り組んでいる。					5		8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】現在、自社のBCP策定に取り組んでおり、2022年3月までに実施する予定である。 現状は、自社の防災・災害対策マニュアルによる日常運用や防災訓練等を実施し、また地域で活動を行っている防災士と連携し、自然災害や事故に備え対策をとっている。								9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成に取り組んでいる。							8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8				12	13	14	15	16	17		

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 丸美屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職場環境や雇用条件等に差別やハラスメントが無いように就業規則に定め周知徹底している。 定期的な従業員アンケートや従業員面談の実施、ハラスメント防止研修により、状況把握及び対応を行い、差別やハラスメントを防止する体制を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人・協会けんぽヘルスター・プライト企業の認定を受けている。 毎月の労働安全衛生会議の実施により労災事故防止に取り組んでいる。 定期的にメンタルヘルスケアの研修、ストレスチェック、専門家への相談を実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正社員・契約社員・パート・アルバイト等の雇用形態及び性別に関わらず、従業員の公正な待遇を行うことを徹底し、定期的に確認している。					5.5			8.5 10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		プライト企業の認定を受けている。 長時間労働を避ける為の残業時間の管理と業務効率化、有給休暇取得の推奨(年間5日の特別有給休暇の取得、半日有給休暇の設定・年間5日有給の徹底)を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各種勉強会の実施、資格取得推奨と資格手当や奨励金の支給、OJTや社外研修等により、能力開発や人材育成に取り組んでいる。 個人目標の設定及び公平公正な評価制度により、能力向上へのモチベーションアップに取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人の認定を受けている。 健康診断や健康相談、ストレスチェックやメンタルヘルスケア等により、従業員一人ひとりの健康管理をサポートし、従業員が健康的に働け、モチベーションが向上し、労働生産性が向上するよう取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性管理職の積極的登用と育成、障がい者雇用、雇用年齢制限の延長等、年齢・性別等に関わらず多様な人材が活躍できる職場環境及び雇用条件の整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		必要に応じて、テレワークや分散出勤を実施しており、またリモート会議やWEB面談など新しい生活様式に柔軟に対応している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		社内コミュニケーションの円滑化や情報共有のためにグループウェアを構築しており、RPAソフトを導入しOJTにより運用を推進して定型業務の生産性を向上させている。またITリテラシー向上のため社員教育にも力を入れており、DXを積極的に推進している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	熊本県プライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9		12							

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 丸美屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		FSSC22000を取得し、そのマネジメント手法を活用して廃棄物や有害化学物質の適切な管理及び処理等、環境汚染防止に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー使用の合理化目標を設定しており、環境負荷の小さいLNG等のエネルギー源の使用、エネルギー効率の高いボイラー設備・空調設備・製造設備を導入、照明のLED化、廃熱回収利用、保温マット設置による放熱防止等、毎年エネルギー使用量及びCO2排出量の削減に取り組んでいる。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		環境負荷の小さいLNG等のエネルギー源を活用しており、エネルギー管理を行い、省エネ効果の高い設備の選定、CO2排出量の少ない車両の選定等、温室効果ガスの排出量を把握して管理し、排出量の抑制に取り組んでいる。	2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		排水処理の管理徹底、CO2削減に取り組んでいる。また製造副産物として、おからを乾燥させ肥料・飼料とし、納豆残渣を肥料とする等、廃棄物の削減に取り組んでいる。					6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		資材ロスの削減・原料ロスの削減に各工場で取り組んでいる。製造副産物の有効利用として、おからを乾燥させ肥料・飼料とし、納豆残渣を肥料とする等、効率的な資源利用に取り組んでいる。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		定期的な水質検査を行うなど、井戸水使用量と水質の管理を徹底しており、節水や質の保全を実施している。	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		2021年に開発して発売したスティック納豆は、従来のトレータイプの納豆と比較し、パッケージのプラスティックごみが3分の1以下に抑えられる商品であり、環境に配慮した新形態の商品を開発している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		製造設備やオペレーション改善により、工場での原料ロスの削減に取り組んでいる。在庫管理の徹底・過剰製造商品の直売店販売の実施により食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2			6.4					12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		工場や本社敷地内の緑化や植栽に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		LNGの導入や、高効率ボイラー・コンプレッサーの導入等、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		農業法人を立ち上げ、耕作放棄地の活用に取り組んでいる。					6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		農業法人を立ち上げ、耕作放棄地の活用に取り組んでいる。					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		新形態の納豆『スティック納豆』の開発と販売促進により、プラスティック使用量の削減、資材ロスの削減に取り組んでいる。										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車をPHEVやハイブリッドカーへ転換し、環境にやさしい自動車の使用を促進している。							9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		エネルギー源としてCO2排出量の少ないLNGのサテライト設備を導入して利用、高エネルギー効率の製造設備の導入、廃熱回収設備の導入、PHEV車・HV車の導入等によるCO2排出量の削減に取り組み、カーボンニュートラル社会にする為のCO2排出量管理と削減に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 丸美屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		食品安全マネジメントの国際認証であるFSSC22000を取得し、その厳格なマネジメント手法により食品安全を徹底管理している。組織の食品安全教育、力量向上の取り組みによって安全性や品質の管理及び向上に取り組んでいる。			3.9						9		12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		2021年に開発して発売したスティック納豆は、従来のトレー型の納豆と比較し、外袋の切り口を簡単に開封するだけで、年齢・障害を問わず公平に、場所や状況を選ばず自由に、簡単に楽に使用でき、環境に配慮した利便性に優れた商品であり、このような商品開発に取り組んでいる。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		農業法人を立ち上げ、原料大豆の自社栽培及び契約栽培を実施し熊本県産の原材料を優先的に使用している。	2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		高齢者社会に備え、高齢者でも食べやすい商品として、スティック納豆を開発し販売促進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●		農商工連携、産学官連携によって、より優れた納豆菌の開発、地域農産物等を活用した新たな商品を開発している。	2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域未来牽引企業の認定を受けている。 三加和温泉を指定管理者として運営し地域社会の憩いの場を提供している。地域イベントへの協賛、地域への新型コロナ対策支援の寄付、熊本城復興支援商品による寄付等、地域貢献へ積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		自社の防災・災害対策マニュアルによる日常運用や防災訓練等を実施し検証を行っている。また地域で活動を行っている防災士と連携し、自然災害や事故に備え対策をとっている。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		地域で活動を行っている防災士と契約し、地域住民や社内に災害に対する備えを啓発し、講演会や情報媒体を通じて地域防災の担い手として情報発信している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		災害時の保存食に利用でき、常温で長期保存可能な乾燥納豆こる豆や南関あげを開発・販売促進している。								9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		事業目標としてSDGsに対する取り組みの強化及び持続可能な社会への貢献を掲げて周知し、教育や意見交換を行い、社内でのSDGsの普及や啓発を行っている。また地域の小学校を対象に大豆を通じた食育活動を実施、ひとり親家庭への場所の提供を行うなど社外に対して教育や支援を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		大豆を通じた食育活動にて農業や食品製造の事を伝えている。また地域の学生に対し積極的なインターンシップの受け入れを行っている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		くま活サポートに参加し、奨学金の返済支援等を行い、若者の地元採用を促進している。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		地域の小学校を対象に大豆を通じた食育活動にて農業や食品製造の事を教育している。また、グループ会社である農業法人 農匠なごみで積極的に農業従事者を採用している。	2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。